

TOTO



ハイドロセラ・フロア PU (薄型)

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では製品を正しく取り付けいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		してはいけない「禁止」内容です。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の可能性が想定される内容を示しています。		必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

	必ず実行	運搬時、施工時は防塵マスクや保護メガネやヘルメット、軍手などの安全防具を着用する 製品はセラミックでわれもののため、万が一破損した際に、破片で失明や切創など重大な事故につながるおそれがあります。
--	-------------	---

注意

	禁止	小便器下床以外には設置しない 水濡れすると滑りやすくなるため、通常歩行部位に設置すると滑り、ケガをするおそれがあります。 製品に衝撃を与えない 製品はセラミックで割れもののため、過度な力や変形により破損しケガをするおそれがあります。 製品に下穴をあける際、振動ドリルは使用しない 製品はセラミックで割れもののため、過度な力や変形により破損しケガをするおそれがあります。 設備留め付けビス及びプラグは製品に直接留め付けない 製品はセラミックで割れもののため、過度な力や変形により破損しケガをするおそれがあります。 製品どうしの突きつけ施工 (目地幅を取らない) は行わない 躯体や下地が動いた場合、製品どうしが干渉し、破損することがあります。
	必ず実行	下地の精度は±2mm/2m以下にする。(精度がない場合は下地を平滑に調整する) 製品が破損するおそれがあります。直定規、レーザーレベル等を用いて、下地精度を確認してください。 運搬時、施工時は軍手などの安全具を着用し、取扱いに注意する 製品端部に素手で触れた状態で滑らせると、手や指を傷つけるおそれがあります。 専用接着剤もしくは、JIS A 5548タイプ I 相当の非弾性型2液エポキシ樹脂系接着剤、ポリマーセメントモルタルで施工するセメントモルタルでの施工はできません 指定外の接着剤やセメントモルタルを使用すると、製品の剥離につながり、破損やケガをするおそれがあります。 接着剤張り工法の場合は、下地が十分に乾燥していることを確認してから行う 製品の剥離につながり、破損やケガをするおそれがあります。 接着は、接着層にスキマをつくらないように、クシ目による全面接着を行う 製品が破損するおそれがあります。 製品の加工には磁器タイル用の刃を使用する 専用外の工具を使用すると、工具の破損や製品の破損につながり、ケガをするおそれがあります。 切断加工した際の製品の切断面は、鋭利になっているので面取り処理を行う 切断面でケガをするおそれがあります。 設備取り付けの際、ビスの締めすぎに注意し、最後は手締めで行う 製品が破損するおそれがあります。

施工前の確認事項

下地・張付け方法について

下地条件

設置できる下地条件	・モルタル下地 (コンクリート下地) ・下地精度 : ±2mm/2m 以下	不陸が基準以上の場合は製品が破損するおそれがあります。 不陸が大きい場合は下地を平滑に調整してください。 既存タイル・石材の上から施工する場合は、不陸が基準内であることを確認し、不陸が大きい場合は下地調整をしてください。 既存タイル・石材が浮いている場合は、剥がした後下地調整してください。
------------------	--	--

設置できない下地条件	塩ビシート・シート系床材	製品が破損し、ケガをするおそれがあります。本製品を使用する箇所のシートを剥がしてから施工してください。
	木造床下地	製品が破損し、ケガをするおそれがあります。

張付け方法

施工方法	下地	張付け材	塗布方法
改良圧着張り	下地モルタル金コテ押さえ (セルフレベリングモルタル) 面精度 ±2mm / 2m 以下	ポリマーセメントモルタル	下地面: 10mm クシ目全面塗布 製品裏面: 全面塗布 (1mm 程度)
接着剤張り		フロア PU/PC 専用一液性接着剤 ※1 または 非弾性型 2 液エポキシ樹脂系接着剤 (JIS A 5548 タイプ I)	下地面又は製品裏面に 5mm クシ目全面塗布

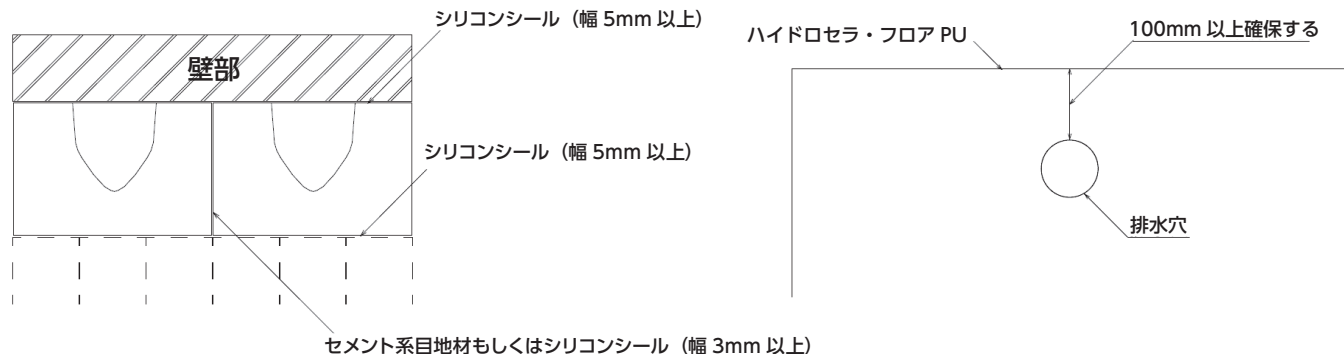
※1 既存タイル、石材への上張りは、非弾性型2液エポキシ樹脂系接着剤をご使用ください。専用接着剤は使用できません。

※ 既設排水フランジを流用した施工はできないため、排水管は製品表面まで立ち上げてください。

施工手順

1 割付け

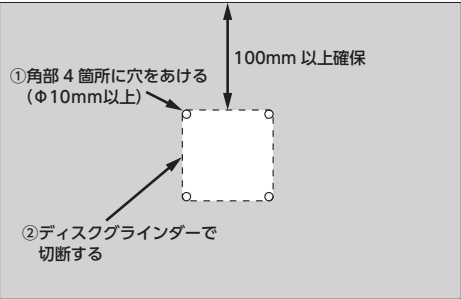
- 製品どうしの目地は3mm以上取り、セメント系目地材 (現場手配) 又はシリコンシール (現場手配) を詰めてください。
- 製品と壁および他部材との取り合いは、隙間を5mm以上取り、シリコンシールを詰めてください。
- 排水穴端部から製品端部 (目地部) までの寸法は100mm以上確保するように加工・割り付けをしてください。



2 加工

・現場にて加工を行う場合、下記工具を使用ください。防塵マスクや保護メガネなどの安全防具を着用してください。

加工	使用工具
切断	・ディスクグラインダー ・電動丸ノコ ・磁器タイル用ダイヤモンドホイール ・ダイヤモンド砥石など
穴あけ	・電動ドリル ・磁器タイル用ダイヤモンドホールソー ・磁器タイル用ダイヤモンドコアビット



・排水穴あけ加工を現場にて行う場合は、以下の点に注意し加工を行ってください。
角部が直角の場合や切り込みすぎがあると破損するおそれがあります。

- ①ディスクグラインダーにて四角穴加工を行う場合は、磁器タイル用ダイヤモンドコアビット（φ10mm以上）を使用し、角部がR形状移動になるように加工を行ってください。
- ②ディスクグラインダーで、角部の穴からはみ出さないように切断する。

・床に給水がある場合は、位置取りを行い磁器タイル用ダイヤモンドホールソーで加工ください。

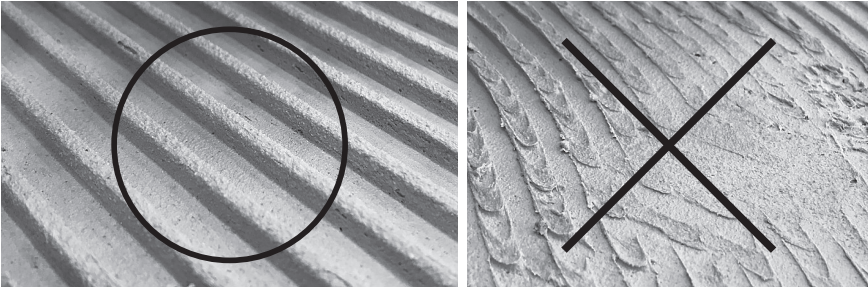
※給水位置は現場毎に異なるため、現場合わせにて加工を行ってください。

⚠ 注意	
必ず実行	切断面は、必ずディスクグラインダー砥石や、ダイヤモンド砥石でエッジ処理を行ってください。使用時に素手で触った場合、ケガをするおそれがあります。

3 張付け

- ・下地精度は ±2mm/2m 以下にしてください。
- ・直定規、レーザーレベル等を用いて、下地精度を確認してください。
- ・製造上僅かな反りがありますので、張付け時は下地と密着するようしっかりと押さえてください。
- ・接着剤張り工法の場合は、下地が十分に乾燥していることを確認してから塗布してください。
下地が十分に乾燥していない場合、製品の剥離につながり破損やケガをするおそれがあります。

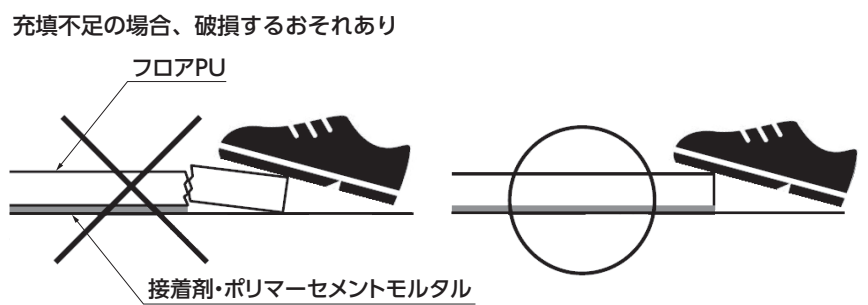
⚠ 注意	
必ず実行	ポリマーセメントモルタル又は接着剤の、クシ目をきちんと立てて下さい。(60度程度) 不十分だと施工後に製品が剥がれたり、破損するおそれがあります。



クシ目がきちんと立っている状態

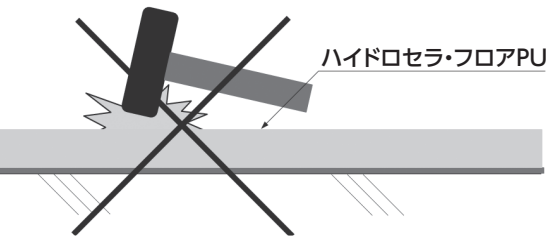
クシ目が立っていない状態

⚠ 注意	
必ず実行	ポリマーセメントモルタル、接着剤をきちんと製品端部まで充填ください。製品が破損するおそれがあります。



接着剤・ポリマーセメントモルタル

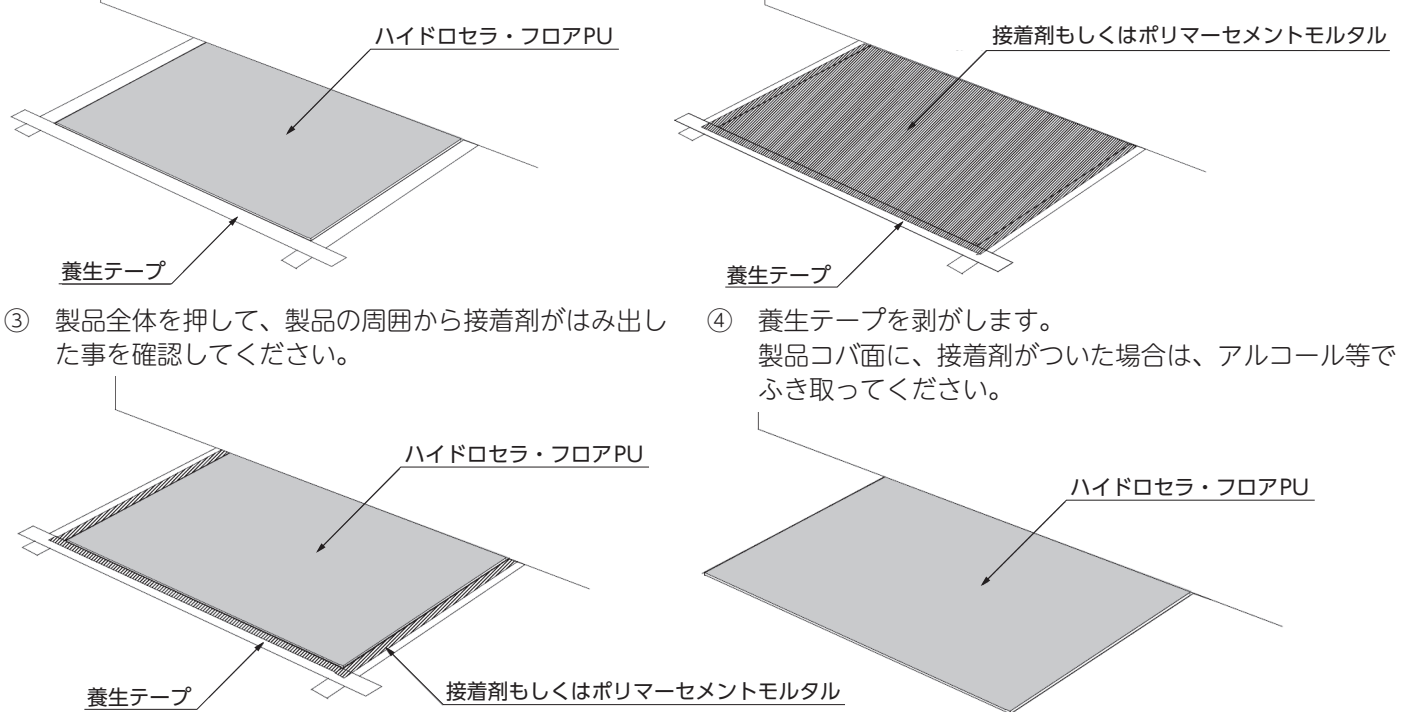
⚠ 注意	
禁止	張付けの際、ハンマーで叩かないでください。 製品が破損するおそれがありますので、手で押し付けてください。



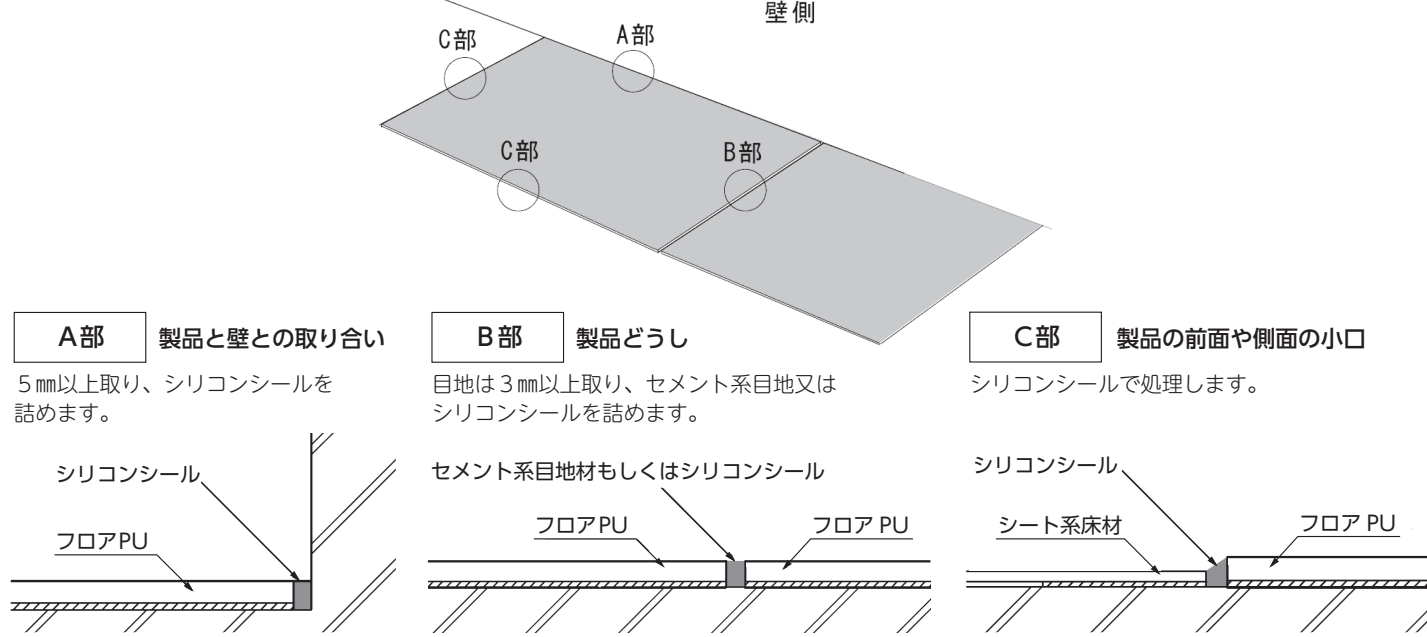
ハイドロセラ・フロアPU

●製品端部にすきまが出来にくいための施工例

- ① 製品を仮置きして、その周辺に養生テープを貼ります。
- ② 接着剤もしくはポリマーセメントモルタルを、養生テープの上にもかかるように塗布します。
- ③ 製品全体を押して、製品の周囲から接着剤がはみ出した事を確認してください。
- ④ 養生テープを剥がします。
製品コバ面に、接着剤がついた場合は、アルコール等でふき取ってください。



4 目地仕上げ



5 設備取付け

- ・床置小便器取り付け時に排水フランジの穴あけを行う場合は、磁器タイル用ダイヤモンドコアビットを使用してください。
排水フランジの穴あけは、製品の留め付けビス径より4mm以上大きい下穴をあけてください。
- ※製品に下穴をあける際、振動ドリルの使用は避けてください。
- ・ビス留めは締めすぎに注意し、最後は手締めで行ってください。
- ・設備取り付けまでの養生時間は、夏季1日、冬季2日を目安とし、接着剤の硬化を確認してから行ってください。

